

【新穂高温泉～雲の平ピストン（祖父岳 2825m ワリモ岳 2888m 鷲羽岳 2923.2m 三俣蓮華岳 2841.2m  
双六岳 2860.3m） 山行記録 2019年8月10日～13日 三泊四日】

《メンバー》 K, Y, I, S  
《 報告 》 S

《ルート／タイム》 全行程歩行時間約36時間 累積登り約 5500m 距離 46km

8月10日(土) 総行動時間7時間

K宅出発(4:30)～川島PAにてS合流(7:25)～ひがくの湯(10:10/10:17)～新穂高センター出発(10:50)  
～笠新道分岐(12:00)～わさび平小屋・昼食(12:22/12:55)～秩父沢(13:45)～イタドリヶ原(15:35/15:48)  
～シンウドヶ原(16:23/16:35)～鏡池・写真撮影(17:25/17:47)～鏡平山荘到着 17:50

8月11日(日・山の日) 総行動時間12時間

鏡平山荘出発(4:55)～弓折乗越・朝食・写真撮影(5:55/6:35)～花見平(6:50)～双六小屋(8:10/8:20)～  
三俣山荘・昼食(12:10/12:35)～黒部源流標(13:30/13:40)～日本庭園(15:00)～雷鳥親子に遭遇(15:30)～  
祖父岳分岐(15:45)～雲の平山荘到着(16:50)

8月12日(月) 総行動時間13時間

雲の平山荘出発(4:40)～祖父岳山頂・朝食(6:30/6:45)～鷲羽岳山頂(9:00/9:15)～三俣山荘・昼食(10:30/  
11:00)～三俣蓮華岳山頂(12:30/12:35)～双六小屋(15:00)～鏡平山荘(17:40)

8月13日(火) 総行動時間4時間半

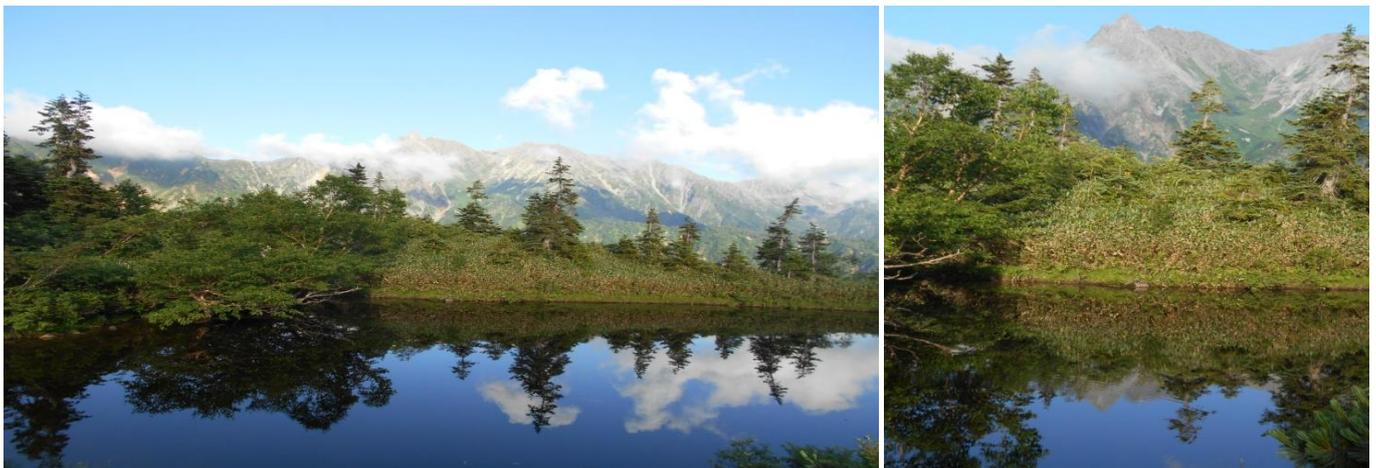
鏡平山荘出発(6:30)～秩父沢・朝食(8:10/8:25)～わさび平小屋・休憩(9:20/9:50)～新穂高センター(11:00)  
ひがくの湯にて温泉・昼食 帰路へ

《はじめに》

北アルプスの秘境・雲の平へと計画し、7月中旬は悪天候により延期。今回は、台風10号が数日前に発生し山行縮小かと悩ませる中、台風10号の速度が遅くなったゆえ予定通り出発。現地に変更ありと覚悟して。結果的には、台風10号は14日以降日本に接近となり、四日間天候に恵まれ絶景の中歩く事ができた。暑すぎたけれど^^;

一日目(8月10日)

予め“ひがくの湯”さんに新穂高センターまでの送迎依頼をしてあったので駐車場の心配なく登山口へ。登山届提出して出発。真っ青な空の下、暑すぎるほどだったが、笠新道分岐での冷水・わさび平小屋休憩とランチ・秩父沢で体冷やししながら、小池新道をたどり鏡平山荘へ。鏡池から槍ヶ岳～穂高連峰への全容が目の前に!



疲れ吹っ飛び写真撮影。勿論、鏡池に映る逆さ槍ヶ岳も! 山荘は混雑していたが特別室が設置されていてほぼ個室♪

三日目の台風接近の心配もあったので12日の宿泊も予約した。これが幸と転じた。

二日目 (8月11日)

本日は長丁場。午前5時前に出発。快晴で槍ヶ岳・穂高連峰を右横に常にして歩く。弓折乗越の絶景にこれまた写真撮影に余念がない。朝食を済ませて花見平を通り双六小屋へ。人でごった返していたので冷水補給して三俣山荘に向かう。鷲羽岳～水晶岳が見えてくる＼(^o^)/



幸いにも槍ヶ岳・穂高連峰の山並みを目の前にして、三俣山荘のカレーライス・ラーメン・持参した昼食でそれぞれとり、黒部源流標へ。休憩していると黒部源流下りの若者達に遭遇。水の中に入って気持ち良さそう！一日で一番暑い午後2時ぐらいに登りが続き息が荒くなる。時折冷たい風が汗をぬぐってくれる事が救いだっただ。



日本庭園は広くチングルマの群生。平原を進むと雷鳥親子に遭遇(\*^\_^\*)ラッキー！！♪祖父岳分岐に着くと、やっと遙か遠く遠く“秘境の雲の平山荘”が見えた。けれど、ここからが長い。約一時間かけて辿りつく。歩き疲れてスイス庭園やギリシャ庭園はパス。山荘で小谷さんガイドに遭遇して話弾む。夕食は石狩鍋。しかし鮭の切り身はどこ～？じゃがいもとごぼうが鮭代わり？状態^^;苦笑

三日目 (8月12日)



本日も長丁場ゆえヘッドンつけて出発。午前 4:40。水晶岳のシルエットを正面にして雲の平の平原を越え祖父岳で朝食。しかし、昨夜の山荘の混雑で約 1 名（私ですが）超睡眠不足。登り鈍足。雲海の上に聳える槍ヶ岳から穂高連峰や水晶岳や黒部五郎岳や薬師岳やのちに進む鷲羽岳の 360 度の絶景に励まされ、とにかく黙々と前へ。鷲羽岳山頂では笑顔で写真(^\_^)v 富士山も見えた♪（デジカメでは撮影できず残念）



ワタゲの向こうに水晶岳



鷲羽岳へ向かう稜線



三俣山荘で昼食。（ジビエ丼が売り切れで残念）エネルギー補給しても鈍足は変わらずだが、三俣蓮華岳～丸山～双六岳へ。午後 2 時あたりからガスがかかってきて双六岳では、残念ながら、槍ヶ岳に一本道が進む情景を撮影できなかった。双六山荘は布団一枚に三人(@\_@;)と聞き、鏡平山荘まで下ることにした。心身共に疲れた体にはきつかったが、「行きも帰りも利用してくれて嬉しい！」と鏡平山荘のオーナー。個室を確保してくれてあった！（個室代なし）万歳！頑張ってた良かったあ～

#### 四日目（8月13日）

爆睡して午前 3 時。個室から観る星空輝いている。槍ヶ岳の肩の小屋の灯、穂先へ向かう登山者のヘッドンの灯、オリオン座も。星空の写真もかろうじて撮影できて感激（自己満足ですが）





ゆっくりした朝、ドリップ珈琲でくつろぐ。午前6時半、山荘の優しいスタッフに別れを告げ、乗鞍岳・焼岳を眺めながら、秩父沢～わさび平小屋へ。冷えたトマト・オレンジ・そうめん頬張り、ゆっくり新穂高センターへ。午前11時。疲れた体を“ひがくの湯”で癒し昼食して帰路へ。

雲の平は、遠く遠く長い秘境地だったが、台風接近かとの心配をよそに、四日間快晴に恵まれ（暑過ぎたが）思えば、多くの日本百名山臨めた思い出深い山行となった。ご一緒いただいた方々に感謝。